

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

国の登録有形文化財

「越智家住宅」を知っていますか

壬生川の鷺森神社の西、堀川付近の国道196号沿いに「越智家住宅」があります。越智家は、明治時代から「枡屋」という屋号で生蝸の仲買や肥料商を営み、300軒ほどの商家が立ち並び中、町一番の本店でした。

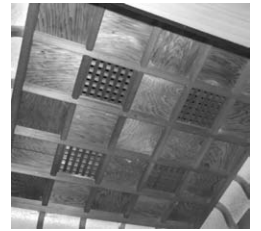
昭和2年に建築された隠居所は、玄関を入ると座敷があり、天井は笹目の杉の赤味材を使い、襖の縁は何度も漆を塗り重ねてふくらみを作っています。居間の障子はガラスをはめた猫間障子となっていて、居間に座った位置から座敷裏にあ



▲越智家住宅

る廊下が見通せます。また、トイレの引き戸の下部は網代張り、天井は折り上げ格天井となっているほか、脱衣室天井に使った煤竹、なぐり仕上げの竿縁など、木造建築の手本のような職人技が随所に見られます。どの部分にも知恵と工夫を凝らし、手間と時間をかけた技術の粋が込められていて職人の息遣いを感じることが出来ます。

貴重な建築物となっている店舗、居宅、数寄屋、茶室は平成14年に国の登録有形文化財となっています。一般公開はしていませんが、本河原通りに面した店舗や、2階などは外から見る事が出来ます。



▲折り上げ格天井

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

おじいちゃんおばあちゃん

温かいプレゼントありがとう!!

市の委託を受けた在宅介護支援センターが、各公民館で毎月1回「高齢者つどいの場（高齢者カフェ）」を開催しています。内容は体操、ゲーム、創作とさまざままで、毎回楽しい声が聞こえてきます。



▲竹ぼっくり作成中

徳田公民館で行われている「徳ちゃん笑わい仲間」では、正月飾りで余った竹を使い、竹ぼっくりや一輪挿しを作りました。普段は寡黙な高齢者の方々も、腕の見せ所

とばかりに張り切っていました。

出来上がった竹ぼっくりは、認定こども園西山学園と徳田児童クラブに寄贈されました。園児たちは、初めは不思議そうに見ていましたが、遊び方が分かると夢中になって遊んでいました。児童クラブでも大人気で、「あそこまで競争!」とかけっこをしたり、「馬の足音みたい」と竹ぼっくりの音色を聞いたり、とても楽しんでいました。

昔ながらのおもちゃを地元の方が作り、子どもたちが遊ぶ。今まで当たり前であったことが忘れられていく中で、地元のつながりや温かみを感じた時間でした。



▲遊ぶ子どもたち

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

発掘調査からみた小松町の歴史

—道場遺跡—

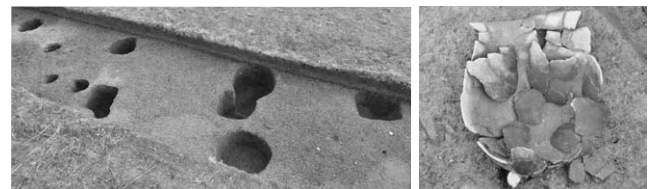
中山川右岸JR線路付近の道場地区は、古くから良質な粘土が採れ、地元の瓦業者が粘土を採掘する際に弥生時代の石包丁などが出土していたことから、埋蔵文化財包蔵地に指定されています。

現在、この地域で進められている農地整備事業に伴い、市が昨年7月から断続的に埋蔵文化財の発掘調査を行っています。これまでの調査では、弥生時代前期末から中期中葉ごろの土坑、奈良時代後半ごろの掘立柱建物や溝などの遺構、飛鳥・平安・室町時代の遺物が出土し、重要な成果を挙げる事が出来ました。

道場遺跡西側の、国道11号小松バイパスや今治小松

自動車道工事の際に発掘調査が行われた松ノ丁遺跡・大久保遺跡・松ノ元遺跡などでも、同時期の遺構や遺物が確認されています。小松町にはそのほかにも多くの遺跡があり、古くから人々が生活していたことが予測されます。

遺跡は、その場所がたどってきた歴史の積み重ねです。時空を超えたメッセージから、この地における人々のどのような営みが見えてくるのか楽しみです。



▲奈良時代後半ごろの掘立柱建物跡(左)と煮炊き用土器